



環境かわら版

2024年9月号(第340号)



「SDGs Aichi Expo 2024」を開催します(P2)



「第11回三河湾大感謝祭」を開催します(P3)



プロから学ぶ連続講座 環境活動ステップアップ研修の参加者を募集します(P4)



「第54回愛知県野生生物保護実績発表大会」を開催しました(P6)



モリゾー キッコロ
あいちSDGsアンバサダー ©GISPRI

愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組を推進しています。県の環境に対する取組は、環境局 Web ページ「あいちの環境」で紹介しています。



「あいちの環境」(<https://www.pref.aichi.jp/site/kankyo/>)



「SDGs AICHI EXPO 2024」を開催します



SDGs の達成に向けた機運を高めるため、「SDGs AICHI EXPO 2024」を開催します。企業等によるブース出展やステージイベント、ワークショップなど、多数の企画を用意しています。

是非ご参加ください。

なお、ステージイベントはオンラインでも視聴できます。



イベントロゴマーク

1 日時

10月10日(木)～12日(土) 10:00～17:00

2 会場

Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)展示ホールC
(常滑市セントレア5丁目10番1号)

3 主な内容

(1) ステージイベント

10月10日(木)		
時間	内容	講演者等
10:00～10:05	開会挨拶	愛知県知事
10:15～11:45	「地球を救うアカデミー」、「ネイチャーポジティブの取り組み」	環境省中部地方環境事務所
12:00～13:30	基調講演 「環境問題とおさかなの話」	さかなクン
13:45～14:45	「自然再興への新時代～次世代につなごう 豊かな海と大地～」	住友商事グループ、三重大学
15:00～16:00	「パートナーシップで、アウトサイド・イン」	(一財)電気安全環境研究所
16:00～17:00	講演、パネルディスカッション 「ブルーカーボン推進の取組と課題」 愛知県環境局生活環境地盤対策室主催	ジャパンブルーエコノミー技術研究組合、日本製鉄(株)、島を美しくつくる会ほか

10月11日(金)		
時間	内容	講演者等
11:00～12:00	「中堅・中小企業がつながって実現するサステナブルな社会」	(株)アイビーネット
12:00～13:00	「平和を願う高校生によるグローバル対談」	名古屋経済大学市邨高等学校ユネスコ活動
13:00～15:00	「企業に求められるネイチャーポジティブ経営とTNFD開示」 愛知県環境局自然環境課主催	東北大学 グリーン未来創造機構・大学院生命科学研究所 教授 藤田 香 氏
	「ネイチャーポジティブ時代の企業緑地」 愛知県環境局自然環境課主催	MS&AD インターリスク総研(株)、(一社)いきもの共生事業推進協議会
15:00～16:00	「VTuberとSDGsクイズ!」	(一財)SDGsヒーローズ
16:00～17:00	「みんなでチャレンジ!こども・食・SDGs」	愛知県文教女子短期大学

(右段に続く)

10月12日(土)		
時間	内容	講演者等
10:00～12:30	ESD ユネスコ世界会議 +10 Years フォーラム	中部 ESD 拠点協議会
12:45～13:45	「みんなで選ぶ『NPO アワード』」 愛知県県民文化局社会活動推進課主催	NPO による取組発表及び協賛団体から NPO への寄附金贈呈 等
14:00～15:00	「エシカル・ファッションショー」	司会 原田 さとみ氏 (エシカル・パネローブ)
15:15～16:45	「ユネスコスクール交流会」 愛知県教育委員会あいちの学び推進課主催	ユネスコスクール加盟校による取組紹介等
16:45～17:00	エンディングセレモニー	出展者/来場者の投票による優秀ブース出展者の表彰 等

(2) ブース出展等

- ・SDGs の取組を積極的に行っている 100 以上の企業等によるブース出展
- ・楽しく SDGs の理解を深められるワークショップ
- ・会場に設置したスタンプを集める「SDGs スタンプラリー」(記念品あり)
- ・キッチンカーによる軽食の販売



昨年度の様子

4 申込・参加方法

参加は無料ですが、公式サイトから事前の入場登録が必要です。詳細は公式サイトをご覧ください。
(<https://sdgs-aichi.com/>)



5 問合せ先

SDGs AICHI EXPO 実行委員会事務局

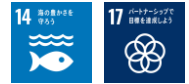
((株)新東通信 内)

電話: 052-971-6233 (平日 10:00～17:00)

メール: info@sdgs-aichi.com

環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)

「第11回三河湾大感謝祭」を開催します



愛知県では、三河湾の再生に向けた取組の機運を高め、多くの県民の皆さんに三河湾に関心を持っていただくため、10月6日（日）に、蒲郡市の西浦温泉パームビーチにおいて、「第11回三河湾大感謝祭」を開催します。

- 1 日時 10月6日（日） 10:00～16:00
- 2 場所 西浦温泉パームビーチ（蒲郡市西浦町塩柄）
- 3 参加費 無料（一部有料の販売あり）
- 4 開催内容
 - ・さかな芸人ハットリ、ツケマイ 23号による三河湾環境トークショー
 - ・会場の海岸で行うスポーツ SDGs 体験会【事前予約及び当日参加】
 - ・水中ドローン操作体験会【事前予約及び当日参加（要整理券）】
 - ・海の自然観察会【事前予約】

- ・三河湾生きものタッチプール
- ・西浦温泉名物「家康鍋」の無料試食（500名分）
- ・三河湾産アサリのつかみ取り（200名分）
- ・各種団体による体験・展示ブース
- ・三河湾についてのクイズラリー など

このほか三河湾産食材を扱うキッチンカーがやってきます。

また、当日は西浦半島の海岸線を歩くウォーキングイベント「第13回にしがまシーサイドウォーク」も開催されますので、是非お越しください。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/2024mikawawan-kansyasai11.html>)



水大気環境課 生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220（ダイヤルイン）

プラスチックごみ削減について学ぶ オンライン謎解きイベントを開催しています



愛知県では、県民の皆さんにプラスチックごみ削減について楽しく学んでいただくため、コミュニケーションアプリ「LINE」上で挑戦できる謎解きイベント「謎解き未来通信！～プラごみから未来のあいちを救い出せ～」を開催しています。是非挑戦してみてください。

1 謎解きイベントの概要

プラスチックごみなどで汚れた未来の海を救うため、未来に住む少女「ミウ」と共に謎を解き、きれいな海を取り戻す無料オンラインゲームです。
(所要時間1時間程度)

2 実施期間

2025年1月31日（金）まで

3 参加方法

「LINE」上で参加できます。
(<https://lin.ee/bd1DP3r>)



4 景品

謎解きクリア後、アンケートに回答いただいた方の中から6名に素敵な景品をプレゼントします。



メインビジュアル



「LINE」イメージ

* 参加に関する注意事項

- 1 「LINE」を利用するには、アプリのインストールが必要です。
- 2 通信料は参加者負担となります。
- 3 通信環境の良い場所での視聴をお勧めします。(Wi-Fi環境推奨)

資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234（ダイヤルイン）

プロから学ぶ連続講座 環境活動ステップアップ研修の参加者を募集します



愛知県では、NPO 等による森と緑の保全活動や環境学習の裾野を広げ、活動のレベルアップを図るため、「あいち森と緑づくり税」を活用し、プロから学ぶ連続講座「環境活動ステップアップ研修」を2014年度から毎年度実施しています。

今年度も、テーマごとに3回に分けて実施します。

講義やフィールドワーク等を通じて、環境活動における課題の解決に役立つ知識や技術を学びます。

参加費は無料です。1回のみでの参加も可能です。

是非ご応募ください。

1 対象者

「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業」の実施団体に所属する方、森と緑の保全活動や環境学習を行っている方、これから行おうとしている方など、どなたでもご参加いただけます。

2 申込期限

第1回：9月25日（水）

第2回：10月18日（金）

第3回：11月22日（金）

※各回とも17:00まで

（必着、申込先着順）



講義の様子

3 申込方法

申込用紙に必要事項を記入し、FAX 又はメールのいずれかの方法でお申し込みください。

申込用紙のダウンロードや申込先等の詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/kankyostepup.html>)



ステップアップ研修 環境活動

検索

実施内容

テーマ・日時	内容	場所	定員
第1回 「野外活動のリスクマネジメント」 10月2日（水） 10:00～16:00	組織で活かせる野外活動の事故予防について、経験豊かな講師から講義、ワークショップを交えて学びます。 講師：渡辺 直史 氏（プラムネット(株)）	もりの学舎 （愛・地球博記念公園内）	20名
第2回 「地域、団体の連携・協働による森づくり」 10月25日（金） 10:00～12:00	地域の自然環境保全と親子で参加できる環境学習の森づくりについて学びます（講義形式）。 演題：「環境学習の森づくり」 講師：篠田 陽作 氏（ネイチャークラブ東海）	愛知県自治センター （6階第602会議室）	20名
第3回 「企画・広報」 11月30日（土） 10:00～16:00	環境や自然に関する事業の企画・広報について、経験豊かな講師から講義、ワークショップを交えて学びます。企画中のイベントなどもブラッシュアップできます。 講師：志賀 壮史 氏（特定非営利活動法人グリーンシティ福岡）	もりの学舎 （愛・地球博記念公園内）	20名

環境活動推進課 調整・環境配慮グループ
電話 052-954-6241（ダイヤルイン）

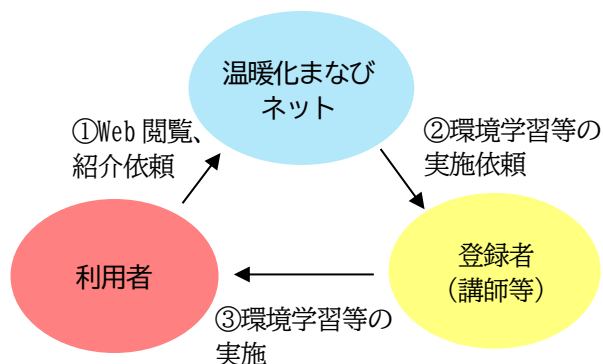
温暖化まなびネットに登録する講師、指導者等を募集しています



愛知県では、県民の皆さんの地球温暖化対策活動を支援するため、様々なテーマに合わせた講師や指導者等の情報を掲載・紹介する「あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット（温暖化まなびネット）」を開設しています。

地球温暖化対策に関する講師や指導者等として県内で活動していただける方（個人・事業者・団体等）を随時募集していますので、是非ご応募ください。

【温暖化まなびネットとは】



1 応募方法

Web ページから登録申請書をダウンロードし、メール又は郵送で提出してください。（宛先は下記 Web ページを参照）

2 登録の流れ

活動実績などを審査の上、講師として登録します。詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/onmananet-bosyuu.html>)



地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213（ダイヤルイン）

第9次水質総量削減計画に係る総量規制基準を一部改正しました



愛知県では、「水質の保全と『豊かな海』の両立に向けた社会実験」を2027年度まで継続するため、水質汚濁防止法に基づく第9次総量削減計画に係る総量規制基準を一部改正しました。

1 改正内容

2022・2023年度に実施した矢作川・豊川浄化センターにおける窒素・リンの濃度基準（C値）を緩和する社会実験の期間について、2024年度から次期総量削減計画を策定する2027年度まで延長しました。

【社会実験の期間】

改正前	改正後
2022年度 11月1日～3月31日	2022年度 11月1日～3月31日
2023年度 9月1日～3月31日	2023～2027年度 9月1日～3月31日

2 これまで実施した社会実験の概要

(1) 内容

矢作川・豊川浄化センターにおいて、放流水中の窒素・リンの濃度を国の定めた範囲の上限値まで増加させ、環境への影響やノリ・アサリへの効果を調査しました。

(2) 結果

環境への悪影響は見られず、ノリ及びアサリに一定の効果が確認されました。

第9次総量削減計画及び総量規制基準の詳細は、Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/0000047072.html>)



水大気環境課 調整・計画グループ
電話 052-954-6221（ダイヤルイン）

「第54回愛知県野生生物保護実績発表大会」を開催しました



1 目的

愛知県では、野生生物の保護に関する普及・啓発と、環境保全意識の高揚及び生物多様性の主流化を図るため、愛知の未来を担う子供たちが主体となって実践する取組を発表する「愛知県野生生物保護実績発表大会」を1971年度から開催しています。

2 大会概要

第54回の大会は、8月1日に刈谷市産業振興センターで開催しました。

午前中は小学校・中学校各2校、午後は高等学校4校の計8校から、野鳥や水生生物、昆虫など様々な生きものの保全活動や生物調査、ビオトープの造成など、これまで継続して実施されてきた各学校の特色ある取組が紹介されました。

発表では、活動の中で遭遇する課題の解決に向けて、子どもたちが専門家や地域の様々な方々と連携して、アドバイスを得ながら、自らの力で前向きに取り組んでいる様子が垣間見え、審査員をはじめ、参加者の心に大きく響きました。

参加された児童・生徒の皆さんには、未来の生きものサポーターとして今後も活動を継続していただくとともに、多くの皆さんが愛知の自然や野生生物保護活動への関心を深め、生物多様性の主流化へつながることを願います。

愛知県知事賞受賞校による発表の様子



岡崎市立生平小学校



豊田市立滝脇小学校



愛知県立佐屋高等学校

3 審査結果

発表後に行われた審査の結果、岡崎市立生平小学校、豊田市立滝脇小学校、愛知県立佐屋高等学校の3校が愛知県知事賞に選ばれました。

愛知県知事賞	
岡崎市立生平小学校	守ろう！野鳥がすみ続ける『ふるさと生平』
豊田市立滝脇小学校	私たちの愛鳥活動 知ろう！滝脇の自然 守ろう！私たちの森 広げよう！地域へ
愛知県立佐屋高等学校 (愛西市)	ナゴヤダルマガエルや水生昆虫の保全に向けた稲わらの活用に関する研究
愛知県教育委員会賞	
岡崎市立河合中学校	河合の宝 ゲンジボタル ー伝統の継続そして 一歩前進ー
愛知県立三谷水産高等学校 (蒲郡市)	ニホンウナギの保護活動について 石倉カゴによる資源量、 生態の調査
愛知県自然観察指導員連絡協議会賞	
学校法人桜丘学園 桜丘高等学校(豊橋市)	ビオトープをつくる
公益社団法人愛知県獣医師会賞	
岡崎市立東海中学校	未来へつなぐ樺 ～希少生物と共に生きる 地域の未来～
愛知県立渥美農業高等学校 (田原市)	渥農カメプロジェクト！ ～5年目の集大成～

詳細はWebページをご覧ください。
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/yaseihappyoutaikai.html>)



愛知県野生生物保護実績発表大会

検索

自然環境課 国際連携・生態系グループ
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン)

「東三河の水辺環境を親子で学ぶ夏休みエコツアー」を 開催しました



東三河総局環境保全課では、SDGs の観点から東三河地域の自然環境の保全と再生を目的とする「東三河自然再生推進事業」を実施しています。

今年度は事業の一環として、県指定天然記念物である「^{ながのやま}長の山湿原（新城市）」と近くを流れる矢作川水系の「^{ともえがわ}巴川」で生物多様性について学習する「東三河の水辺環境を親子で学ぶ夏休みエコツアー」を8月10日（土）に開催しました。

当日は、天候にも恵まれ、小学生の親子を始め 24 名の方にご参加いただきました。

午前中は、普段は入れない長の山湿原の中に入り、湿原の泥炭に触れるとともに、モウセンゴケやタガメなどの生きものの観察を行い、長の山湿原の生態系を学習しました。

午後からは巴川で水生生物調査を行いました。みんなで捕まえたスナヤツメやアブラハヤなどの生き



湿原の生きもの観察

ものを教材に巴川に生息する生きものと周辺環境の相互関係について学習し、参加者からは、「名前を知らない魚を知ることができてよかった」など、関心を高めることができました。



水生生物調査

巴川の生きもの講座

（東三河総局 環境保全課 環境保全グループ
電話 0532-35-6113（ダイヤルイン））

「夏休み環境学習講座」を開催しました



愛知県環境調査センター（名古屋市北区）にある環境学習施設「あいち環境学習プラザ」において、「夏休み環境学習講座」を開催しました。13 日間で延べ 23 講座を開催し、小学生の親子を始め 422 名にご参加いただきました。

今年度は、動植物を実際に観察して生態をより詳しく学習する講座、ソーラーカーを作ることで再生可能エネルギーへの理解を深める講座、ゲームやクイズをしながら地球温暖化や食品ロスについて自分たちが出来ることを確認する講座、また初めての試みとして大学の先生と一緒に実験をして、参加者がその場で夏休みの自由研究ができる講座などを実施しました。



ソーラーカーの作成の様子



吐く息に含まれる二酸化炭素の濃度を測定する様子

参加者からは「植物の特徴や自然界での役割が詳しくわかりました」「太陽光発電はすごい」「受講した夏休み環境学習講座の内容を夏休みの自由研究に生かして嬉しいです」などの声が聞かれ、楽しみながら環境への関心を高めていただくことができました。

（環境調査センター 企画情報部
あいち環境学習プラザ
電話 052-954-5150（ダイヤルイン））

「2023年度ダイオキシン類調査結果」等について お知らせします



愛知県は、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき2023年度に実施したダイオキシン類の環境調査結果及び事業者による測定結果を取りまとめました。結果の概要は、次のとおりです。

1 環境調査結果

県は、国土交通省中部地方整備局、5政令市（名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市及び豊田市）及びその他11市町とともに、大気環境、水環境及び土壌環境のダイオキシン類による汚染の状況を調査しました。

その結果、大気環境（32地点）、水環境（公共用水域の水質（41地点）、底質（44地点）、地下水（14地点））及び土壌環境（14地点）について、公共用水域の水質3地点（半場川坂下橋（安城市）、間川六盆橋（豊川市）、油ヶ淵中央（碧南市））を除き、環境基準を達成しました。

【環境調査結果】

調査項目	調査地点数	環境基準達成地点数	濃度範囲	環境基準	単位*2
大気	32	32	0.0054 ～0.048	0.6以下*1	pg-TEQ/m ³
水質	41	38	0.031 ～1.7	1以下*1	pg-TEQ/L
底質	44	44	0.079 ～63	150以下	pg-TEQ/g
地下水	14	14	0.022 ～0.075	1以下	pg-TEQ/L
土壌	14	14	0.0 ～7.1	1,000以下	pg-TEQ/g

*1 環境基準（大気、水質）は年間平均で評価

*2 TEQとは、ダイオキシン類の異性体の中で最も毒性の強い2,3,7,8-TeCDDの量に換算した値として表したものの



試料採取の様子（水質）

2 事業者による測定・報告状況（5政令市分を除く。）

ダイオキシン類対策特別措置法に基づく大気基準適用施設又は水質基準適用事業場の設置者は、毎年1回以上の「排出ガス」、「排出水」及び「ばいじん等」に含まれるダイオキシン類濃度の測定を行い、その結果を県に報告することが義務付けられています。

排出ガスについては302施設、排出水については20事業場から報告があり、1施設の排出ガスを除き排出基準に適合していました。排出基準を超過した施設については、改善対策の実施を指導しました。

また、ばいじん等については138施設から報告があり、3施設を除き、ばいじん等の処理に係る基準に適合していました。基準を超過した施設については、ばいじん等の適正な処理を指導しました。

【事業者による測定・報告状況】

測定項目	報告済施設数*1		未報告施設数*3
	報告済	基準不適合	
排出ガス	302	1	0
排出水*2	20	0	0
ばいじん等	138	3	0

*1 報告済施設数は、2023年度末の数を示す（ただし、報告後廃止した施設も含む。）

*2 排出水の施設数は、事業場数を示す。

*3 未報告施設数は、未報告施設のうち、年度途中で廃止・休止した施設を除いた施設数を示す。

3 今後の対応

ダイオキシン類による汚染の状況を監視するため、引き続き環境調査を実施していきます。また、今後も事業場に対する立入検査を行い、排出基準及びばいじん等の処理に係る基準の遵守などを指導していきます。

詳細はWebページをご覧ください。
(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/2023dioxin-tyosa.html>)



愛知県 ダイオキシン類 公表

検索

環境活動推進課 環境影響・リスク対策グループ
電話 052-954-6212（ダイヤルイン）



「あいちの未来クリエイト部」は、高校生が専門家等の支援を受けながら、地域の環境問題について調査・研究を行い、その結果を基に環境学習教材を作成する活動で、2017年度から行われています。

今回から3回にわたり、2023年度の参加グループが作成した教材を紹介します。

初回は、「愛知県立知立東高等学校自然科学部」の皆さんが作成した教材を取り上げます。

知立東高等学校自然科学部の皆さんは、知立市の猿渡川に生息しているミシシippアカミミガメの駆除活動を行う中で残った死骸を、堆肥にして有効活用できないかと考えました。2022年度に作成した堆肥の効果を検証するとともに、材料の配分を検討し、新たに堆肥を作成しました。



調査・研究活動の様子

調査の結果、ミシシippアカミミガメの死骸を有効活用した堆肥(カメ堆肥)を使用した場合と使用しなかった場合におけるラディッシュの発芽率には有意な差はみられませんでした。カメ堆肥は牛糞堆肥と比べ、窒素とカリウムの値が高いことが分かりました。

調査結果を基に作成した教材は、おはじきゲーム「おはじきカメさん」です。

これは、プレイヤーがおはじきをすることで堆肥の材料を集め、よりバランスの良い堆肥を目指すゲームです。プレイヤーはフィールドシートの上に

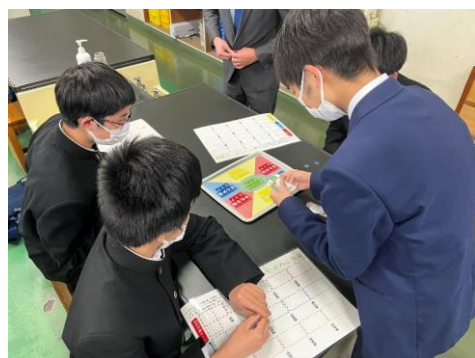
置いた自分のおはじきを三つの栄養のエリアに入れ、バランス良く栄養ポイント(カード)を集めます。ポイントを通して堆肥に重要な栄養のバランスだけでなく、身の回りの有機性廃棄物を堆肥化できるという気づきを与えます。

教材の概要

主な対象	小学校高学年～高校生
参加人数	3～5名程度
所要時間	20分



教材「おはじきカメさん」



教材を活用する様子

あいちの未来クリエイト部では他にも様々な教材を作成し、全て貸出しを行っていますので、是非ご活用ください。教材や貸出方法の詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/program.html>)



未来クリエイト部

検索

環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

○ 愛知県におけるカメムシについて

愛知県農業総合試験場の「あいち病害虫情報」によると、今年はカメムシの発生が多く注意が必要とのこと。

カメムシは、カメムシ目に属する昆虫の総称で、日本には千種類以上が生息するといわれます。このうち、夏から秋にかけて大量発生し、被害をもたらすのは、果樹カメムシ類と呼ばれるチャバネアオカメムシやクサギカメムシ、ツヤアオカメムシなどで、愛知県では、特にチャバネアオカメムシの割合が高いのが特徴です。

チャバネアオカメムシは、体長約1cm、寿命1年半程度で、5月下旬から8月にかけて、スギ、ヒノキ等の球果に産卵して増殖します。多い時には1回の産卵で、約100個の卵を産み付け、約1週間で成虫になります。そして、餌の球果を食べつくすと森を離れ、果樹園や民家の果樹に飛来します。夏から秋にかけてはナシやカキ、ミカンなどのかんきつ類での被害が多くなる傾向にあります。また、夜行性で、日没後から1時間が最も活発となり、1日の飛行距離は5kmという観測結果があります。

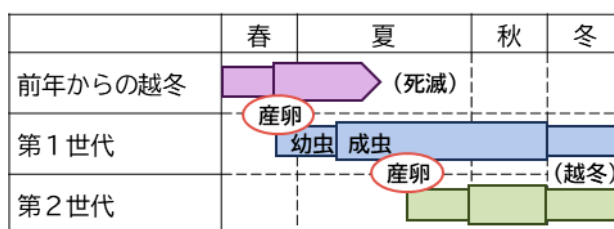


チャバネアオカメムシ（成虫） カキにおける吸汁痕

出典：愛知県農業総合試験場
病害虫図鑑 カメムシ類（果樹共通）

○ カメムシ大量発生と地球温暖化

カメムシの大量発生の主な原因は、地球温暖化の影響による活動期間の長期化です。これは、暖冬によって、前年から越冬する個体が増加し、カメムシの繁殖開始時期も早まるためです。この活動期間の長期化と、餌の球果の豊年が重なると、カメムシの個体数だけでなく世代数も増加し、さらなる大量発生につながります。



チャバネアオカメムシの大まかな生態
(大阪府「果樹カメムシ類 生態と防除対策」を参考に作図)

○ 効果的なカメムシへの適応策

カメムシは、光に集まる性質があり、特に紫外光に反応します。このため、不必要な照明の消灯や、LED照明への変更により呼び寄せが緩和されます。また、夕方に活発化するため、洗濯物は早めに取り込むことにより屋内への侵入予防となります。屋内に入った場合は、刺激を加えると猛烈にくさい臭いを発するため、ティッシュなどで軽くつまんだり、底を切ったペットボトルなどで捕獲したりして、カメムシを外に出しましょう。

環境調査センター 企画情報部
愛知県気候変動適応センター
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

※掲載のイベントや講習会等は、天候の影響等により、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」(第340号)

発行日 2024年9月2日

編集・発行 愛知県環境調査センター 企画情報部

所在地 〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6

電話 052-910-5486(ダイヤルイン)

URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>
(今月号とバックナンバーを掲載しています。)



掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。